



2022年8月5日

各 位

上場会社名 帝国通信工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽生 満寿夫
(コード番号 6763 東証プライム市場)
問合せ先 取締役上席執行役員 丸山 睦雄
(TEL 044-422-3831)

2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,500	百万円 600	百万円 700	百万円 550	円 銭 56.18
今回発表予想 (B)	8,000	720	1,000	750	76.61
増減額 (B-A)	500	120	300	200	—
増減率 (%)	6.7	20.0	42.9	36.4	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	7,499	948	1,048	797	81.35

(2) 2022年3月期通期連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,800	百万円 1,300	百万円 1,500	百万円 1,200	円 銭 122.58
今回発表予想 (B)	16,500	1,500	1,800	1,400	143.01
増減額 (B-A)	700	200	300	200	—
増減率 (%)	4.4	15.4	20.0	16.7	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	15,109	1,698	2,024	1,586	162.08

2. 修正の理由

当社グループを取り巻く受注環境は、中国・上海のロックダウン（都市封鎖）や半導体等の調達不足に伴う一部顧客の生産調整、各種原材料の調達難、資源・エネルギー価格や円安に伴う材料費高騰等マイナス面もありましたが、前期に引き続き概ね安定しております。

そのような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの実績は、自動車電装向けは半導体等の調達難の影響による顧客の生産台数減少の影響を受け低調でしたが、ゲーム機市場向けは堅調に推移し、生活家電向けや医療機向け等が好調に推移したこと、また円安の進行によるプラス面の影響もあり、売上、収益ともに想定を上回って進捗しております。特に第1四半期末の外貨建て金銭債権・債務の評価においては、急激な円安による為替差益（営業外収益）の計上により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅な増益となりました。

第2四半期以降も、依然として、世界的な半導体や材料の一部供給不足、エネルギー・資源や材料価格の高騰、為替変動等のリスクが継続しており、不透明感が強い状況ではありますが、引き続き円安基調が続くと想定されます。

これらの状況をふまえ、為替想定レート等を見直した結果、売上、損益ともに、前回発表予想を上回ることが見込まれますので、2023年3月期第2四半期（累計）および通期連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、連結業績予想の前提となる為替レートを1米ドル＝110円から125円に変更しております。

*上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上